

# JAしまねびより

2017  
5  
May Vol.14

特集 島根のいいもの再発見!! 「スナップエンドウ」 島根おおち地区本部



Naomichi



江の川に泳ぐ鯉のぼり

島根には誇れる農産品がたーっくさん！  
**島根のいいもの再発見!!**  
 直撃・生産者インタビュー



東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

## 【スナップエンドウ】

5月は島根おち地区本部。江津市桜江町でスナップエンドウを生産する、佐々木啓裕よしひろさんにお話をお伺いしました。



### いつからスナップエンドウを栽培しておられますか？

今年で2年目になります。祖父が長年、サヤエンドウを栽培しているなど、小さい頃から農業の手伝いや自然と触れる環境がありました。就農してからは、スナップエンドウの他に、スイートコーン、ごぼう、人参、広島菜、なすを8反から1町の規模にて一人で作っています。サヤエンドウに比べスナップエンドウは比較的価格が安定しており、収量と単価を考慮し野菜の少ない時期に栽培できるスナップエンドウ栽培を始めています。



### スナップエンドウはどのように栽培するのですか？

ツル性なので畑に竹の支柱を立て約2mの高さでネットを畑に張ります。スナップエンドウは病害虫や雑草等に強いほうではないので、土はマルチで覆って12月に種を播き、5センチ程度まで芽が伸びた状態で越冬させます。寒さに当てると丈夫で大きな花芽がたくさん付きます。4月中旬に下のほうから花芽が付いた後に豆サヤができ、下旬から順々に収穫、5月までの1カ月で集中して出荷します。昨年は全部で約500kg、主に広島市場に出荷しました。





日々の管理としては、肥料切れを起こさないようにすると、雨が長く降らない時には灌水（かんすい）をする事です。ある日突然、枯れているという事があるので、毎日

### 日々の管理や大変なこと などありますか？



注意深く観察しています。一番大変な時期は収穫です。手で全部のスナップエンドウを摘み取っていかなければならず、時間と手間を取る作業です。収穫は労力のいる作業ですが、収量よりも規格に見合ったモノがしつかり出来ていれば嬉しい限りです。また、スナップエンドウは連作障害になりやすい野菜です。同じ場所で作ることが難しいので、6年から7年のサイクルで数種類の野菜を輪作しています。

### 農業従事者の高齢化が進む中、就農された感想はいかがですか？

夏に人参やナス、ゴボウなどを育て、秋には広島菜、12月に人参やごぼうの収穫の時期に合わせてスナップエンドウを定植させ、1年間切れ目なく野菜を育てています。どのような栽培計画で輪作すれば長期間収穫ができて、一人で無理のない作業ができるか、また収量を確保できるかを自分自身で考えるのは、楽しくやがいを感ずります。

## スナップエンドウ 一口メモ

スナップエンドウはアメリカで作られた品種で、グリーンピースの豆の甘みと、サヤエンドウのシャキシャキ感を一緒に味わえるのが特徴。ビタミンCやカリウム、ベータカロチン、カルシウムなど、栄養価高いバランスのよい野菜の一つ。サヤごと食べれるので、食物繊維もしっかり摂ることができる。鮮やかな緑色が、料理に彩りを加え、また熟してもサヤが固いので、茹でたスナップエンドウをマヨネーズなどの調味料を付けて食べたり、炒め物に入れるのが美味しく、広く親しまれている。



### 最後に、今後の抱負を聞かせてください。

桜江町では昔から比較的単価が高く、冬から春にかけて



負担なく栽培できるスナップエンドウを栽培している方が多くいらっしやいましたが、担い手不足等により、今では5、6人程度しか栽培していません。今後の目標としては、積極的に栽培面積を広げ、4年後にスナップエンドウを1反の規模で栽培したいと考えています。



## 雲南

### 水稻防除の負担軽減に向けて

雲南地区本部と雲南農協青年連盟(農青連)は3月末、ドローン(小型無人飛行機)の管理委託契約の調印式を行いました。ドローンでの防除システムを確立し、水稻等の病害虫防除の負担軽減が期待されます。

デモ飛行では、オペレーターが操縦機から手を放しても衛星利用測位システム(GPS)機能で姿勢を維持することなどを確かめました。ワンタッチで着脱できるユニットにより液剤散布装置と粒剤散布装置を簡単に交換でき、液剤8ℓ、粒剤6kgを散布できます。

同地区本部加藤博樹本部長は「地域振興の一環として今回のドローン防除を広めて欲しい。地域の農業を守るためにも農青連には期待をしている」と話し、農青連坪倉誠委員長は「ヘリコプターでは適さないような所でも、このドローンがあれば散布できる。農青連の取り組みをドローンと共に飛び上がらせたい」と力強く語りました。



⑤加藤本部長からドローンを操作するプロボを受取る④坪倉委員長と⑥石原公夫副委員長

## くにびき

### 沖縄で販売促進

#### 島根県産米「つや姫」大人気!!

島根県産米「つや姫」の認知度向上と販路拡大を目的に、JAしまねと米卸業者などが4月1日・2日、イオン琉球の那覇店と南風原店では、<sup>はえぼる</sup>試食販売を行いました。

米の生産量が少ない沖縄県本島では、沖縄県内の卸売業者が全国各地の米を販売しています。

JAしまねではこれまでに12回、イオン琉球で試食販売を実施。その結果、県内産「つや姫」に対する支持を得て、固定客が増加し、毎月イオン琉球で売上トップの人気商品に成長しました。

今回、くにびき地区本部から田中鈴夫副本部長をはじめ営農経済部の職員が参加し、対面販売でアピール。2日間で、目標の600袋(5kg入り)を大きく上回る650袋を販売しました。

同行した米穀畜産課恩田直幸係長は「沖縄県での支持率は高く、好評を得ている。今後も安定供給が図れるよう、販売促進に取り組みたい」と熱く語りました。



## 隠岐

### TACキックオフ大会を開催

隠岐地区本部と隠岐どうぜん地区本部は4月24日、農家組合員の多様なニーズに迅速・的確に対応し、農業所得の増大やサービス向上を図ることを目的に、TACキックオフ大会を開催しました。

TAC(タック)とは、地域農業の担い手に向くJA担当者のごことで、今回新たに両地区本部の2人がTACとなり、JAしまね全体で24人の体制ができました。

隠岐支庁6F会議室で開催した同大会では、はじめに本店事務局からTACの全国情勢や活動の目的、TACシステムについて説明し、質疑応答では、両地区本部での目指すべきTACの姿について活発な意見交換がなされました。

その後、28年度活動報告、29年度活動計画についても協議し、最後に島根県農林水産部より島根和牛の現状について情報提供を受け終了しました。

今後、島内担い手農家、畜産農家等への訪問活動を通じ、多様なニーズに応え、より一層組合員の所得増大、サービス向上に繋がるよう取り組んでまいります。



## やすぎ

### カレーにイチゴ?!

#### 「いちごカレー」を新発売

やすぎ地区本部は4月15日、特産のイチゴを使ったレトルトカレー「あらえっさいちごカレー」の販売を開始しました。甘酸っぱいイチゴと相性の良い県内産の豚肉を使用したフルーティーなカレーで、特産のイチゴのPRと更なる消費拡大を目指しています。

今回は主力品種である「紅ほっぺ」のペーストをカレーに使用。同地区本部は、栽培生産の過程で生じる規格外品を活用するため、市内の福祉施設にイチゴのペースト加工を委託し、市内外の食品製造事業者と連携して、このペーストを使用したイチゴの加工品の商品化に力を入れています。

JAの担当者は「いちごカレーを通じて安来のイチゴを知ってもらおうきっかけにしたい」と話しました。価格は一箱200g入り580円(税込)で、市内3か所のJA農産物直売所で販売しています。



## 斐川

### JAの総合力で生活支援

斐川地区本部は4月14日、荘原支店入り口で、ガス住宅課職員による「ライフサポート24」のPR活動を行いました。

同地区本部は、高齢者を支援するために㈱セーフティネクストが開発した緊急通報システム「ライフサポート24」を導入して1年を迎えます。

このシステムは、赤色の非常用ボタンを押すと警備会社「ALSOK山陰」が対応し、白色の生活支援ボタンを押すと同地区本部にメールが入り担当者が電話で対応します。食品や日用品の買い物代行、水漏れ電化製品のトラブルなどさまざまな要望に応じ、内容によっては職員が自宅を訪問し、専門的な技術が必要な場合は無料で業者を紹介します。

現在斐川町の約110世帯が加入しており、これまでに、大風で壊れた雨どいの修理や買い物代行などの依頼を受け早急に対応することで喜ばれています。

来店者からは「日中は一人になることが多く、将来的にこういったサービスが増えていくとうれしい」という声もありました。



説明をする担当職員

## 隠岐 どうぜん

### 交通安全を願って 春の街頭指導を実施

隠岐どうぜん地区本部はこのほど、春の交通安全運動の一環として街頭指導を行い、管内住民に交通安全を呼びかけました。

島根県では、「広げよう 事故ゼロしまねの おもいやり」をスローガンに、高齢者の交通事故防止・子供の交通事故防止・飲酒運転の根絶など5項目を重点運動として、4月6日から15日までの10日間、交通安全運動が実施されました。

これにあわせ、同地区本部では、西ノ島町と海士町内にテントを設置し、地元保育園児や保護者、交通安全対策会議委員らと一緒に交通安全のパンフレット等を運転者や通行者に配布しました。

また、4月15日に浦郷警察署が知夫村ふれあい広場で開催した「知夫村交通安全グランドゴルフ大会」に夜光反射材・シールを参加賞として提供し、交通安全を呼びかけました。



## 石見銀山

### JA職員がひな人形に扮する

石見銀山地区本部の職員が3月25日、大田市大森町で開かれた「春うららひなまつり」に参加し、ひな人形に扮しました。おひなさまやお内裏様、三人官女に扮して、「おひなさま行列」を来場者の前で披露。「すごくきれいで、とても華やか」と評判を呼びました。

まつりは、同市大田町の大田商工会議所女性会が開催。これまでは同会議所を会場にしていたが、7月に「石見銀山遺跡とその文化的景観」が世界遺産登録10周年を迎えるため、大森町の町並みに会場を変更しました。訪れた人はひな飾りの展示や茶席、等身大おひなさまとの撮影会を楽しみました。

出演したのは宅和麻衣子さん、西村春美さん、福岡悠生さん、山下里穂さん、若槻ゆうさん。貴重な経験をした5人は「長時間静止するのが辛かったが、とても楽しかった」「化粧を初めてしてもらった。一生の思い出になった」と話していました。



JA職員による等身大のおひなさまたち

## 出雲

### シーズン到来！ ラピタビアガーデン オープン！

出雲地区本部では毎年恒例となっている「ラピタビアガーデン」の営業を4月14日、ラピタ本店屋上で開始しました。小さなお子様から年配の方まで幅広く楽しんでもらえる交流の場となることを目的に開催し、今年で23年目を迎えます。

初日は仕事帰りの方を中心に約200人が来場。オープニングセレモニーでは、JAしまね出雲女性部北浜支部の「かもめ教室」が踊りを披露したほか、ライブや紅白もちまきなどの催しもあり、オープンに花を添えました。

ビアガーデンは9月30日までの期間中、午後5時半から午後9時まで毎日営業します。常時60種類の料理を準備し、バイキング方式で飲み放題、食べ放題となっています。今年最後の金曜日は3時半から開場し、5時までに入場すると1,500円で2時間飲食ができる「プレミアムフライデー」を新たに企画しました。季節に合わせた料理や楽しんでいただける企画、お得な企画を多数用意し、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



ご予約・お問い合わせは  
生活部プライダル課 TEL0853-21-6063まで。  
(お問い合わせ時間/9:30~20:00)

## 西いわみ

### JA女子大生が 煎茶の入れ方を学ぶ

西いわみ地区本部は4月5日、JA女子大学第9回目の講義として「煎茶の入れ方教室」を開きました。

益田市元町の益田市立市民学習センターで行った教室では、学生10人とそのお子さん7人が出席。松月流島根西支部の松崎幸代先生をお招きし、「おいしい煎茶の入れ方」と「来客の際の対応」などを主に学習しました。松崎先生からは、煎茶の入れ方だけでなく、煎茶を家庭で楽しむことで、家族と穏やかな時間を作ることが大切だということも教えていただきました。

参加者は「普段、お茶を飲むというと水分補給としてしか認識がなかったが、今回参加してお茶を楽しむということを学んだ」「春休み期間中ということもあり、子どもと一緒に参加できて楽しく学べた」と話しました。

次回は6月に益田市飯田町のJA多品目選果施設を見学する予定です。



## 島根おおち

### 29年度島根おおち女性部 総会を開催

島根おおち女性部は4月5日、邑智郡邑南町の矢上交流センターで第22回通常総会を開き、28年度の活動報告と29年度の活動計画の報告を行ないました。

29年度計画では、食と農・地産地消運動の促進、地元農産物の消費拡大のため地域に対する情報発信の促進を目指しており、青年連盟との連携を強化して、管内保育園児と行うカレーの日や芋ほり交流会などを行なうふれあい農園の開催、ケイトウ栽培のさらなる拡大に向けた活動の展開を目指します。

総会前には、28年度ケイトウ栽培の優良生産者表彰を行ない、羽須美支部・今田宮農女性部・石見支部・川角和子氏・谷口順江氏の3団体・2個人を表彰しました。

寺内洋子部長は「28年度は食農教育や6年目を迎えたケイトウ栽培を通じ部員の絆・交流を深めてきた。ケイトウ栽培も地区本部を超えた広がりを見せている。29年度においてもたくさんの活動・交流を通じ女性部を盛り上げていきたい」と話しました。



## 本店

### 第11回全国和牛能力共進会に向け 島根県決起大会を開催

第11回全国和牛能力共進会島根県出品対策本部は3月22日、出雲市の島根ワイナリーで第11回全国和牛能力共進会島根県決起大会を開催しました。

この決起大会は、今年9月7日から10日に宮城県仙台市で開催される同共進会に向けて開催したもので、今回の全共キャラクターである「牛政宗くん（うしまさむねくん）」をゲストで招き宮城県の紹介をいただくとともに、島根県生産者代表の和泉英富さんが決意表明を行い、全共への意気込みを再確認しました。

また、同共進会に向けて島根県応援キャラクターの公募を行い、多数の応募の中から松江農林高等学校の犬山樹里さんの作品「しま牛くん（しまうしくん）」を最優秀賞に選び、表彰しました。「しま牛くん」は、県代表ユニフォームをはじめ様々な場面で登場しますので、よろしくお願いたします。



島根県応援キャラクター  
「しま牛くん」



キャラクターを作成した犬山さん



決意表明する和泉さん

## いわみ中央

### 浜田柿加工場が竣工

いわみ中央地区本部は4月5日、浜田柿加工場の竣工式を行いました。来賓に島根県農林水産部の長野正巳課長や久保田章市長をはじめとして多くの関係各位を招きテープカットを行いました。

この施設は、JA統合を機に、生産者からの発案により統一規格を検討してきたもので、統合メリットを生かし、旧JA枠を超えて西条柿を受け入れ、貯蔵施設などの広域利用を進める事で増産に結び付け、新たな販路開拓にもつなげる期待をもって新設しました。

井上宗治地区本部長は、「JA統合により、硫黄燻蒸を施さないあんぼ柿の統一ブランド化計画を進め、国の「平成28年度産地パワーアップ事業」と浜田市の「農業拠点施設整備事業補助金」のご支援で完成をみた。この施設を西部の拠点施設として位置づけ、30万個の生産を目標に、所得向上と生産拡大を図りながら、今以上に西条柿の産地化の推進と地域農業の発展に努めていきたい」とあいさつしました。



ご案内

平成  
29年度

## 「JAしまね農業振興支援事業」

組合員の皆さまの農業所得の増大、農業生産の拡大の実現に向けて、以下のとおり「JAしまね農業振興支援事業」を実施します。

国や県、市町村と連携して島根農業および農村の活性化に向けた取り組みを強化するとともに、新規就農者の確保育成に努めます。



### 1. 事業内容

- (1) 魅力ある産地づくり支援事業
- (2) 島根農業モデル対策支援事業
- (3) 元気な地域づくり支援事業
- (4) 担い手と新規就農者（Uターン者を含む）に対する支援
- (5) 担い手の継続営農に向けた巡回人間ドックの受診支援

### 2. 申請方法

事業の詳細及び申請手続き等は、各地区本部の営農担当部署にお問い合わせください。

ご案内

平成  
29年度

## 地域貢献・地域活性化支援事業

地域の歴史・自然・文化等を活かした『地域力』発揮による「元気な地域づくり」を支援するために、以下のとおり「地域貢献・地域活性化支援事業」を実施します。

地域貢献・地域活性化に取り組むグループ・団体等の多様な取り組みを表彰、普及支援することにより『地域力』の向上を支援し、島根県内の地域活性化に努めます。

### 1. 事業内容

- (1) 地域活性化に取り組むグループ・団体等の表彰
- (2) 地域活性化のための活動を普及、維持・拡大または開始するための資金支援

### 2. 予算総額（支援総額）

**700万円**

### 3. 募集期間

平成29年5月15日(月)～7月31日(月)まで

### 4. 申請方法

お住まいの地区本部へ申請ください。

事業の詳細は、地区本部のくらしの活動担当部署にお問い合わせいただくか、

JAしまねのホームページ (<http://ja-shimane.jp/>) でご確認ください。



## 浜田柿加工場竣工式



J Aしまねいわみ中央地区本部は、4月5日（水）に、浜田柿加工場（貯蔵施設と加工施設）の竣工式を行いました。来賓に、島根県農林水産部 長野正巳課長や久保田章市浜田市長をはじめとして多くの関係各位の出席によりテープカットが執り行われました。

この施設は、11 J A統合前に、生産者からの発案を受け、統一規格を検討してきましたもので、統合で県域1 J Aとなったメリットを生かし、旧 J A枠を超えて西条柿を受け入れ貯蔵施設

などの広域利用を進める事で、あんぽ柿増産に結び付け、新たな販路開拓につなげる期待をもち新設されました。

井上宗治地区本部長は、「J Aしまねの統合により、硫黄燻蒸を施さないあんぽ柿の統一ブランド化計画が進み、昨年より国の「平成28年度産地パワーアップ事業」、と浜田市の顔として、一億円以上の農作物を育てるために西条柿・赤梨、ピオーネ3品目を指定し産地育成を進めている浜田市の「農業拠点施設整備事業補助金」のご支援で完成をみた。所得向上と生産拡大を求めながら柿のブランド化にむけ、この施設完成により30万個の生産を目標に、西部の拠点施設として位置づけ、今以上に西条柿の産地化の推進と地域農業の発展に努めていきたい」とあいさつしました。



## いわみ中央西条柿生産組合定期総会開催

いわみ中央西条柿生産組合は、4月11日（火）、ホテル川隅（浜田市旭町）にて平成28年度定期総会を開催しました。

稲垣組合長ら生産者32名が参加し、来賓として島根県西部農林振興センター浜田農業普及部長 秦様、浜田市長 久保田様をはじめ多くの来賓の方にお越し頂き、西条柿生産振興に向け、激励の祝辞を頂きました。定期総会では、平成28年度の事業及び決算等の報告を行い、次年度の活動方針など協議しました。また、出荷販売優秀者及び西条柿生産組合品評会入賞者の表彰を行いました。

平成29年産は、出荷目標160tを掲げ生産振興に努めていきます。10月には地元産直市場をはじめ県内外で「安全・安心、大玉で甘く美味しい西条柿」を基本に販売を行って行きます。「浜田市の顔」の一品として力を入れ、生産拡大と品質向上に努めていきます。

稲垣組合長は「あんぽ柿加工場は増産体制が整いました。生産組合として、まずは西条柿（生果）の生産拡大に向け、同組合の活動を盛り上げていきたい。」と意気込みを話されました。



品評会授賞式

産地PRへ！ 浜田市金城町わさび産地ツアー開催



金城町わさび生産組合は、4月8日、浜田市金城町波佐にて昨年引き続き2回目となるわさび産地ツアーを開催しました。

当日は、浜田地区を対象にチラシやポスターで募集した、わさびに興味を持っておられる方、計28名が参加し、圃場見学や摘み取り体験、わさび漬け教室等を行いました。

圃場見学では、溪流式と呼ばれる谷川の水を利用してわさび田を作り、自然に近い形で、根わさびを中心に栽培する水わさびと水わさびに比べると手間は少なく、葉わさびや苗立てを中心

に栽培する畑わさびの2種類の圃場を見学し、管理者である同組合の阿妻博之理事長に畑わさびと水わさびの特徴や違いなどについて説明頂きました。

また、昨年度、時期により実施できず要望を頂いていた、わさびの摘み取り体験を行い、花・葉わさびを摘み取ることで、収穫の大変さやわさびの特徴など理解を深めて頂きました。



わさび漬け教室

では、同組合の木朝子理事長に講師を頂き、圃場で摘み取ったわさびを用いて、塩もみによる辛みを出す方法や調味料(めんつゆ等)で味を調え、醤油漬けを作る方法など説明を行いました。実際に一人一人に作業をしてもらい、出来たものは持ち帰って頂き、家庭で食べてもらえるようにしました。



昼食では、同組合の生産者が作られたわさび醤油漬けや粕漬け、味噌の加工品、また新たに、花わさびの味噌漬けやわさび椎茸、甘酢漬けなど試食してもらいました。参加者からは、「多くの種類があり楽しい。味はわさびの辛さが出ていておいしい。食べやすくて、自分でも作ってみたい。」と好評の声がありました。

昼食会場では、試食頂いた加工品を販売することで、消費拡大にも努めました。

同組合の河野正則組合長は「今回の産地ツアーを通じて、少しでも認知度を高め、消費拡大に繋がっていきたい。また、興味を持って頂いた方はぜひ、自分で作ってみて栽培してほしい。」と今後の生産拡大にも期待を込めました。

平成28年度 いわみ中央菌床椎茸生産部会 定期総会

いわみ中央菌床椎茸生産部会 向井康博部会長らは3月28日、浜田市旭町のホテル川隅で平成28年度定期総会を開催しました。

来賓には、島根県西部農林振興センター 林業部 浜田地域林業普及課長 林 真弘様、浜田市旭支所 産業建設課 産業振興係長 坂根 国博様、(株)北研 西日本営業所 栽培システム開発リーダー 川端 義寿様、市場からは(株)広印 広島青果 野菜部 部長 栗原 幹様、副部长 岩森 衛様、(株)東亜青果 野菜部 浦木 誠様、をお招きしました。

J A担当者から28年度は天候不順等で培養中の温度が高く発生が遅くなり出荷数量が減少したが高単価で推移したことや事業及び決算等の報告、次年度生産・販売に向けた課題・目標などを協議しました。

平成29年度の計画として昨年度に引き続き地元産直さんさい市場や販売先(市場)への販売促進イベントを開催し宣伝を行います。また、積極的に先進地への視察研修を行い技術向上に努めます。



向井部会長は「今年度は、昨年並みの栽培ブロック数となったが、天候の影響もあり出荷量は減少したが、次年度に向け、様々な事業を行い、活気付くことができるように努めたい。」と29年度に向けて意気込んでおられました。

平成28年度 野菜生産振興協議会 定期総会

いわみ中央野菜生産振興協議会は、3月31日(金)、いわみ中央地区本部ふれあいホールにて平成28年度定期総会を開催しました。

原田猛協議会長を始め生産者40名が参加されました。当日は、久保田 章市浜田市長を始め、西部農林振興センター 神城 文典課長の出席も賜わり開催しました。

最初に、各作物部会の優良農家への表彰式を行い、その後議事に入りました。28年度は春の強風や、秋雨前線による天候不順のため各野菜とも収量や品質の低下によって、減少となりましたが、全体量の品不足のため、価格は高単価に推移した結果などの報告と共に、次年度へ向けての計画が説明され、平成29年度へ一層頑張る決意を致しました。

# 教えて野菜作り！

## カボチャ栽培の裏ワザ

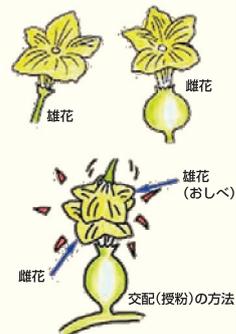
ウリ科 原産地：アメリカ大陸



- ・収穫の適期をそろえる
- ・甘くて重いカボチャづくりの方法

野菜に限らず植物は、葉で作られた炭水化物と、根から吸収した窒素から、アミノ酸を合成して実に送ります。実がつく節位が高く（先端のほう）になると、その先の葉の枚数が限られるため、実に運ばれる栄養分が少なくなってしまいます。このため、見た目には実は大きくなっていても、中身が充実していないので、軽くて甘みのない実（うらなり）になります。

そこで、昨年紹介（H28年3月号）したスイカと同じように収穫適期をそろえる方法に加え、重量感たっぷりの甘いカボチャづくりの方法を紹介します。



○栽培スケジュール    ◆ 種まき    ● 苗植え付け    ■ 収穫

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培					◆	◆		■	■			

### 1) 種まき・苗づくり

株数が少ない時は、9cmポリポットに種子を播き、覆土は1cmぐらいにして、本葉3～4枚程度になるまで育てます。

(施肥例 1㎡当り)

肥料名	元肥	追肥	備考
苦土石灰	150g		サンライムでも可 化成肥料
完熟堆肥	3kg		
有機配合A801	80g	60g×2回	

### 2) 畑の準備

苦土石灰を入れよく耕しておき、植え付け15日ぐらい前までに、30cmぐらいの深さに掘って、元肥に完熟堆肥と化成肥料を施し、幅180cmの畝を作っておきます。

(絵A)



(絵B)



葉が15枚以下のときは1果に

### 3) 植え付け

- ・株間90cmで植え付けます。
- ※ウリ類はカボチャに限らず、若苗ほど活着が良く、地温（土の温度）も15℃以上を目安にしましょう。

### 4) 整枝

子づる5～6節のころ親ヅルを摘心し、3～4本の子づるを伸ばします。

- 収穫の適期をそろえるために小ヅルの先端を同じ方向に誘引します。(絵A)

### 5) 誘引・追肥・人工受粉のテクニック

ヅルが50cm前後に伸びたら、同じ方向に誘引します。長い小ヅルは外側を大きく回し、短い小ヅルはまっすぐ伸ばし、芽の先端をそろえ、同じ方向に伸長させます。このごろ1回目の追肥を施します。2回目は果実が湯呑み大になったころ、株間のところどころにまきます。

朝、8～9時ごろまでに、雄しべの花が出ることを確認し、人工授粉します。

- ※孫ヅルに雌花が咲いたら、同じ位置の雌花の柱頭に雄花の葯（雄しべの花粉）をつけます。できれば1ツル当たり2果着果させ、受粉日を書いたラベルをつけます。

- 甘くて重いカボチャをつくるためには葉が15枚以下のときは1果に！（絵B）

### 6) 摘果

着果して果実が肥大し、着果節から先端まで15枚以上の葉があれば、2果とも残し、15枚以下であれば一果を摘果しましょう。

### 7) 収穫

着果した先の雌花は、結実しないように摘み取るようにします。受粉後、約50日経過して、爪をたててくい込まないくらいに硬くなっていたら収穫時期を向かえます。



西部農林振興センターからのお知らせ

ドローン空中散布に必要な手続き

- ドローンや無人ヘリコプター等の無人航空機により、空中散布を行う場合は航空法に基づく国土交通省の事前許可・認証が必要です。
- 農林水産省、島根県は指針により、安全に空中散布ができる機種及び散布方法、一般社団法人農林水産航空協会が認定したオペレーター研修の受講、空中散布事業計画書の提出等を定めていますので、指針に沿った空中散布をお願いします。

○航空法（国土交通省）

ドローン等を飛行させる者

散布日の10開庁日前まで!!

「申請書」を国土交通省まで提出  
(提出先) 航空局安全部運航安全課ほか  
《詳しくは国土交通省のホームページを参照》

許可・承認

※許可・承認を受けるまで散布できません。

空中散布の実施

※飛行中は許可・承認書の原本、写しを携行して下さい。  
(内容が確認できればスマートフォン、携帯等の電子媒体にデータを保管し携行しても可)

《留意事項》

- 散布中に重大事故(人の死傷、第三者への重大な事故等)が発生した場合は、速やかに報告してください。
- <報告先>
  - 国土交通省航空安全部運航安全課  
TEL:03-5353-8737 FAX:03-5253-1661
  - 夜間・休日/大阪空港事務所  
TEL:06-6843-1124
- 散布記録、散布実績の報告が必要です。

○島根県指針

ドローン認定機種

Zion、MMC940AC、DAX04、  
TSV-AQ1、AC940T、MG-1  
(以上6機種 H28.12現在)

オペレーター研修  
農林水産航空協会が認定する研修については、メーカーにお問い合わせください。

ドローン等による防除の委託者または受託者

散布日の前月25日まで!!

空中散布事業計画書を提出

(提出先: 島根県及び関係市町村)  
西部農林振興センター TEL:0855-29-5754  
浜田市 TEL:0855-22-3500  
江津市 TEL:0855-52-2501

空中散布の実施

《留意事項》

- 散布中に事故が発生した場合は、速やかに県(計画書提出先)に報告してください。
- 空中散布後は実績書を提出してください。

<問い合わせ先> 西部農林振興センター 農政部 TEL:0855-29-5754  
《航空法に関するお問い合わせ》 国土交通省航空安全部運航安全課 TEL:03-5253-8737

## 産直トビックス

### マイバッグ持参運動から「がん募金」へ

ＪＡしまねいわみ中央地区本部は、4月26日に井上宗治地区本部長といわみ中央女性部徳田マスエ女性部長が出雲市塩治町「公益財団法人ヘルスサイエンスセンター島根」を訪れ、広沢卓嗣代表理事理事長へ「がん対策募金」を贈りました。



この取り組みは、いわみ中央地区本部といわみ中央女性部が「地球温暖化対策」、「ごみ削減運動」として実施。レジ袋無料配布を平成22年7月24日より中止し、産直きんさい市場黒川店、周布店の2店舗で「マイバッグ持参運動」を呼びかけ展開を行ってきました。

お客様がマイバッグを持参されると、レジ袋を配布していた経費（1人につき3円）をＪＡが積立をし、「がん患者等の活動支援」、「がん対策の各種啓発運動等の支援」として毎年贈り続けています。

この運動も今回の募金が7回目となり、平成28年度のエコ募金は222,470円。累積総額1,454,217円と成りました。井上地区本部長は、「今後も継続して実施することが大切で、産直をご利用いただいている消費者と生産者が一緒になって取り組んでいきたい。」と挨拶しました。今後も「がん対策支援の啓発活動」を展開して行きますので、ご協力をお願いします。

### いわみ中央産直振興協議会金城支部 視察研修会で学びと親睦を図る

いわみ中央産直振興協議会金城支部（支部長 河野正則、産直会員146名）参加者16名は、3月13日店舗視察と青ねぎ農家圃場視察の研修を行いました。

店舗視察では、ＪＡしまね斐川地区本部の斐川グリーンセンターで、同店舗の福島斉店長から野菜の栽培履歴提出状況、端境期の仕入れ対応、出荷規格、集荷便運行などの説明を受け参加者は耳を傾けていました。

青ねぎ農家圃場視察では、斐川地区本部営農部営農第三課千葉香保里主任より同地区本部の梶谷さんのハウス圃場4棟に案内をいただき視察を行いました。

圃場では、梶谷さんや千葉主任から年間播種計画や年間収穫数量、収穫までの作業行程などの説明を受けました。参加者からは、たくさんの質問がでて有意義な研修でした。

この視察研修では、いろんな事を学び、同時に「金城支部で青ねぎを作りましょう」と河野支部長の言葉もあり、会員同士で更なる交流会を深めました。

【斐川グリーンセンター】



【青ねぎ農家圃場視察 斐川地区本部】



### なつかしい味のたくあん漬、「いわみの母ちゃん漬」を樽出し販売

ＪＡしまねいわみ中央弥栄女性部は、4月21日（金）きんさい市場黒川店前で「いわみのかあちゃん漬」（たくあん漬）の今年初めての樽出し販売を行いました。女性部のメンバーが子供だったころ食べた、家で作ったたくあん漬、昔ながらのたくあん漬を再現しようと、10年前からイメージ通りの味に近づくように検討しながら改良を続けてきました。大根も漬物用の品種を使い、播種から栽培加工まで一連の作業を女性部で行いました。今回のたくあん漬の味は上々で、試食された方は「懐かしい味だね」と、隣近所におすそ分けをするため、一人で5本買って帰られるお客様もおられました。この「いわみのかあちゃん漬」は、黒川店だけでなく、「きんさい周布店」や、「まんてん」「サンピコごうつ」でも販売します。



## プルタブ回収運動で車いす贈呈

J Aしまねいわみ中央地区本部は、4月13日、社会福祉法人 浜田市社会福祉協議会に車いすを贈呈しました。

地区本部は、平成24年から地域貢献活動の一環として、J A女性部を中心としてプルタブ回収運動を展開し、管内のコミュニティー施設に年間約400kg 寄贈してきました。今年度より、地区本部で回収した620kgのプルタブから、車いすを購入し、社会福祉協議会へ贈りました。井上宗治地区本部長は、「小さな積み重ねの活動が大きな成果となり、地域の皆様の思いを伝えるべく、協同活動としてまた、J Aの地域貢献活動として取り組んでいきたい。社会福祉事業に役立てていただきたい。」と述べました。

大谷克雄会長は、「浜田市の社会福祉施設で使わせていただく。地域の皆様のご協力に感謝する。」とお礼を述べられました。

29年度は、江津市社会福祉協議会へ贈呈予定です。



## 共済表彰式で7名のL Aと8支店が受賞!

4月28日出雲ラピタにて、「平成28年度J A共済合同表彰式」が開催されました。

この表彰式では、平成28年度の活動において県下213名のL A（ライフアドバイザー）の中で、組合員・利用者の皆様への共済普及活動において牽引役となった職員、自動車事故に遭われたご契約者様へ迅速で安心な事故対応を行った職員、自動車共済の普及拡大や保障内容の充実を図ることに貢献した職員が、最優秀賞を受賞しました。

積極的に関わった支店、また共済契約の引受け処理を最も迅速に行った支店や、各種事務手続きを最も正確に行った支店が表彰されました。いわみ中央地区本部からは、7名のL Aと8支店（事業所）が受賞しました。これからも、地域の皆様のより安心な未来のために、役員一同努力して参ります。



## バンク表彰

4月21日（金）出雲ラピタにおいて、県下151名の渉外担当者が参加する「平成28年度J Aしまね優績渉外担当者表彰式」が開催されました。いわみ中央地区本部からは、浜田支店渉外 宮田豪さんが総合部門で第一位となり優秀賞に選ばれ表彰を受けました。

また、宮田豪さんは、「自分を変えること」と題し体験発表を行い、探究心を持つことやお客様の気持ちを共有することの重要性を語りました。



## 第18回

## JAしまねいわみ中央女性部通常総会

～心ひとつに！ ケイトウの花を植えて花貯金をしよう！～



JAしまねいわみ中央女性部（部長 徳田マスエ）は、4月25日に第18回通常総会を開催しました。来賓に久保田章市市長をはじめとして、JAしまね女性部 高野智子副部長をお招きし、37名の代議員が出席しました。開会では、徳田マスエ部長が「4月18日には、新しくJAしまね女性部が発足しました。県内の女性部が同じ志を持ち、共に活動し仲間づくりの輪を広げていきたい。JA女性組織3カ年計画 JA女性部ふみだす勇氣 学ぼう・伝えよう・地域とともに」の実践2年目と成り、新しい事に挑戦していきたくと思う。今年は、部員みんなでケイトウの花を植え、花貯金をしようとテーマをかかげ、更なる強い絆で活動を展開していきたい。」と挨拶されました。総会では、平成28年度活動報告や29年度活動計画などすべての議案は承認されました。今年は、役員改選であり、新メンバーを中心に地域で輝く女性部組織を目指して頑張っていきたいと思えます。

地域のみなさん、活動に参加してみませんか。ミニグループでも加入できます！



問い合わせ先

JAしまね いわみ中央地区本部  
企画総務部 ふれあい課 女性部事務局  
☎0855-22-0202

## JAしまね いわみ中央女性部 役員紹介



部長  
徳田 マスエ  
(弥栄女性部部長)



副部長  
小西 喜美子  
(金城女性部部長)



委員  
平川 節美  
(江津女性部部長)



委員  
石本 まゆみ  
(三隅女性部部長)



委員  
山崎 佳子  
(浜田女性部部長)



委員  
川平 正子  
(旭女性部部長)

**贈**  
雑巾一枚運動で  
学校がピカピカに！



J Aしまねいわみ中央女性部（徳田マサエ部長）は、3月16日、女性部員が取り組んだ雑巾1枚運動で集まった748枚の手縫い雑巾を、浜田市教育委員会と江津市教育委員会へ贈呈しました。

この取り組みは、J A浜田女性部が以前より取り組んでいた活動で、学校がピカピカになりますようにと今では、いわみ中央女性部員全員で取り組み、教育委員会を通じて管内の小中学校へ配布されています。

浜田市教育委員会の石本一夫教育長は、「毎年たくさん雑巾をいただき、大切に使用させていただいて。小学校の統合という現状もあるが、地域の皆さんに守られていることに感謝します。」とお礼を述べられました。



J Aしまね女性組織協議会総会  
J Aしまね女性部発足！



4月18日に、J Aしまね女性組織協議会 第59回通常総会が出雲市ラピタウエディングパレスにおいて開催されました。各地区本部女性部代議員42名が出席し、平成28年度活動報告、平成29年度活動計画等が承認されました。開会にあたり長島会長は、「島根県のJ A女性組織の60年のあゆみの中、立ち上げ当初は68,780名の部員数をほこる、大きな組織であった。平成27年4月にJ A体制となり、2年間をかけJ Aしまねの女性部組織の体制について検討し、本日J Aしまね女性部が発足する事となった。県内の女性部員が同じ志を持って、仲間づくりの輪を広げていきたい。」と挨拶されました。ひきつづき、食と農を基軸とした活動、くらしをベースとした活動の充実を図ると共にJ Aしまねの新たな飛躍に向け、メンバー一人ひとりが地域のなかで輝けるよう取り組んでいくことを確認しました。



女性部活動発表  
笑顔のまごころ宅配便



4月18日に、J Aしまね女性組織協議会通常総会の後、女性部活動発表大会が行われ、地区本部女性部を代表して、J A金城女性部の宮本美保子さんが発表されました。

発表内容は、J A金城女性部の高齢者福祉活動として実施している『まごころ宅配便』の取り組みについて発表され、高齢者が増える地域の中で、声掛け運動も兼ねた、J A女性部としてできる活動は何かと考え、各支部でまごころ弁当を工夫し作り贈っている事やこの活動が今では、地域の町づくり委員会と一緒に活動の取り組みとなった。など地域とともに活動展開を図っている様子を発表されました。





## 4月講義 「家庭菜園 プランターで野菜作り」

JA女子大学4期生4月の講義は「家庭菜園 プランターで野菜作り」でした。講師は“あくりノート”のコーナーでお馴染みの、営農部島本職員です。

始めに、「農産物についてもっと知ろう」のタイトルで座学。米離れになった日本人の環境についての話では、家庭の食事が家族がそろって食べる事が出来ない状況、ご飯だとおかずが必要だから面倒と忙しい日々の状況から一汁三菜が敬遠されるようになったのが米離れの一因であることを



を知りました。また、無農薬野菜と有機野菜の違いについても学びました。

実技として、1人ずつプランターに土を詰め、ラディッシュの種を蒔きました。水やりのタイミング、間引き、肥料のやり方について熱心に聞いていました。収穫し、食卓に並ぶ日が楽しみです。

自分たちが毎日のように口に作る野菜、正しい知識を持って体に良いものを選びたいですね。



## \* JA女子大学OG会 \*

### なでしこの会



JA女性大学1期生OG会なでしこの会は結成6年目を迎えました。今年度の年間活動を計画する中で、活動費を得るために自分たちで何か出来ないかと考えました。そこで、毎年行っている「こんにゃく作り」の経験を生かし、手作りこんにゃくの販売に挑戦する事になりました。4月12日に会員が集まり、慣れた手つきで丸型のこんにゃくを作りました。青のり入りの物と2個入りで袋詰めをし、販売用のシールを貼り出来上がり。そして、きんさい市場へ初出荷をしました。売れ行きが気になりましたが、

見事に完売！！購入いただいたお客様には「すごくおいしかった。次はいつ販売？また買うからね。」とうれしいお言葉をいただきました。20日には第2回目を出荷しました。

なでしこの会は、これからも新しい事に挑戦し、充実した活動を皆で一緒に行います。

みなさん、きんさい市場でなでしこの会手作りこんにゃくを見かけましたら、一度食べてみてください！！



## 第24回 川平町花田植のご案内

早乙女さんの  
参加募集!!

■とき 平成29年5月28日(日) ■場所 江津市川平町ふれあい広場前の田んぼ

### 日程

- 10:00 ・太鼓隊(道中囃子で) ・早乙女一向「防災施設」出発→現地へ  
・飾り牛3頭による代掻き ・開会式(主催者あいさつ・来賓あいさつなど)
- 11:00 ・三拝おろし《太鼓の囃子(三拝の唄)》 ・田主三拝  
・早乙女田植開始  
《郷田小学校田植えびやし～特別出演》  
《太鼓の囃子～田んぼの中に入って川平田植ばやし保存会》
- 12:00頃 ・田植終了予定
- 12:30 アトラクション ・児童館演技 ・タイ舞踊 ・よさこい ・歌と演奏など  
・おたのしみ抽選会
- 14:00頃 閉会予定

お問い合わせ・早乙女の申込は…

松平コミュニティー交流センター(松平たすけ愛協議会) ☎0855-57-0002



# 新入職員紹介

- ①趣味
- ②好きな言葉
- ③これからの抱負



## 土橋 賢人

- ①車を運転すること
- ②人事を尽くして天命を待つ
- ③新入職員として、1日でも早く仕事を覚えたり、資格を取ったりしてJAの力になりたいです。また、地域行事には積極的に参加して、よりJAと地域の人との距離を縮めていけたらいいなと思っています。持ち前の元気と明るさでJAや地域を盛り上げていこうと思います。



## 中野 智子

- ①絵を描くこと・読書
- ②怖い時こそ先を見る
- ③日々笑顔心がけ、組合員・利用者の方々に信頼される職員となれるよう努力し、成長していきたいと思っています。



## 新人職員が農家で農業体験



いわみ中央地区本部では、新人職員2人が4月24日から28日まで農業実習を行いました。農作業実習は、農業や農作業の実態を学習し、JA職員としての自覚につなげるために実施しています。2人は、管内の農家に配置され、野菜の収穫や出荷作業などを体験しました。新人職員は、「草ぬき作業や野菜の出荷作業の体験をしたが、野菜が店頭並ぶまでの工程も、消費者の皆さんに安心して買っていただくように工夫し、大変な作業をされていることが良く解りました。腰が痛くなって、農作業は大変だなと思いました。」と感想を述べました。JA職員としての自覚と責務を感じた農業実習でした。



## 人事異動のお知らせ

(平成29年5月1日付)

新部署・職位	氏名	旧部署
共済部 共済課 課長	塚田 幸輝	共済部 共済普及課 課長
共済部 共済事務センター 共済管理課 課長補佐	佐々尾 光代	共済部 共済保全課 課長
共済部 共済事務センター 自動車共済課	奈須 哲也	共済部 共済保全課
共済部 共済課	静間 裕子	共済部 共済普及課
江津支店 業務課	柿谷 光咲	浜田支店 長沢事業所
浜田西支店 業務課	吉原 勉	浜田西支店 美川事業所
浜田東支店 上府事業所	橋本 敏江	共済部 共済保全課
江津西支店 業務課	湯淺 薫	共済部 共済保全課
浜田西支店 美川事業所	河上 雪	共済部 共済保全課
共済部 共済課	新田 哲朗	共済部 共済保全課

新部署・職位	氏名	旧部署
浜田支店 長沢事業所	和田 正人	浜田東支店 上府事業所
共済部 共済課	榎 ゆき恵	共済部 共済保全課

退職者 (平成29年4月30日付)

氏名	旧部署
山崎 聖也	営農経済部 農産課
狩野 彩子	江津支店 業務課
新田 真弓	企画総務部 ふれあい課



# キラリ いー顔!

浜田市三隅町向野田 『向野田なかよし会』

今回は、元気はつらつとグラウンドゴルフを楽しむグループを紹介します。

『向野田なかよし会』では、旧三隅小委学校グラウンドで毎週火曜日と金曜日の午前中にグラウンドに集合!平均年齢は……。

このグループは10年以上前から始められ、当初は「向野田なかよし会」だけでやっていました。近年、お隣の地区のグループ「千代鶴会」さんにも声をかけ、楽しい事は大勢でと一緒にプレーされています。当面の目標は、JAの大会に出場する事。大勢のメンバーで楽しんでいます。

(代表:柳子 弘さん)



## 福祉センター通信

～福祉用具貸与からのお知らせ～

# 福祉用具展示会

- 日 時 / 2017年6月14日 (水) PM1:00~PM5:00  
15日 (木) AM9:00~PM5:00
- 場 所 / サンマリン浜田

今回は地域の事業者が御会社と協力し、似たような福祉用具の『違い』を実際に体験できるイベントです。



例えば…

専門相談員も常駐しているので、質問や相談などコミュニケーションを通して商品の特徴を知り、体感できます♪

お問合せ先  
JAしまね いわみ中央福祉センター  
佐藤まで  
☎22-8918

**年金相談会**  
5月30日(火) 旭支店  
午後3時～7時まで

**住宅ローン相談会**  
5月28日(日)  
浜田支店は年金相談会もあります  
午前9時～午後3時まで

5月28日(日)  
午前9時～午後3時まで  
浜田支店  
浜田西支店  
江津支店支店



# 高温好みで乾燥を嫌う、サトイモ作りのポイント

板木技術士事務所 ● 板木利隆

山で採れる山芋に対し、人の住む里にできることからサトイモの名があり。原産はマレー半島付近の熱帯の多湿地。日本には中国を経て渡来、稲作以前は日本の主食であったとされる野菜の大先輩です。

主成分はでんぷん質。加熱すると糊化（こか）し消化吸収しやすくなり、カリウムが豊富に含まれ、意外に低カロリー。体脂肪や生活習慣病が気になる人にもお薦めです。

親芋が中心にあり、子芋、孫芋がその周りに付くサトイモには、通常子芋、孫芋を食べる子芋用と親芋を食べる親芋用、葉柄を食べる葉柄用があります。

通常は子芋用の「土垂」や「石川早生」などを選びますが、好みによって親芋用の「京いも」や親子兼用の「八つ頭」、葉柄用の「蓮芋」なども用います。

サトイモは連作障害が出やすい野菜なので、少なくとも3~4年作ったことのない場所を選んで栽培しましょう。

高温性で生育適温は25~30度、植え付けは十分に地温が上がってから、植え付けの深さは7~8cm。植え付けたら畝上にポリマルチをし、地温の上昇を図ります。

マルチの下で、芽が伸び始めたら遅れずにフィルムを破り芽を上へのぞかせます。

芽が勢い良く伸びだしたら、太い芽1本だけを伸ばし、小さな芽は早いうちにかき取ります。土寄せ前なら芽を倒して土で埋めてしまうのも良い方法です。

本葉が5~6枚になった頃、畝の通路側に肥料（1株当たり油かす大さじ3、化成肥料大さじ2が目安）をばらまいて、土と混ぜ合わせながら株元に土寄せをします。

マルチフィルムは片寄せして作業し、再び覆います。土寄せの

厚さは4~5cm程度にし、2~3週間置きに3回ほど行います。第2、3回の土寄せの前にも第1回同様に追肥しますが、葉が茂り過ぎなら肥料は控えめにしてください。第3回はマルチを除去して作業します。あまり遅くまでマルチをしておくと高温と乾燥のために芽つぶれやひび割れなど、子芋の障害の原因になるので注意します。

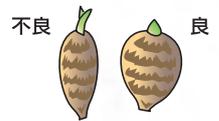
サトイモは日照り不作といわれるほどに、夏の乾燥には弱いです。降雨が少なく、土が乾き過ぎるようでしたら灌水（かんすい）を心掛けます。

例年乾きが激しい畑には作付けしない方が良いでしょう。

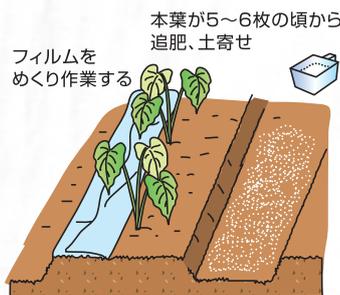
※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



肥料を埋めるように通路の土を株元に寄せる

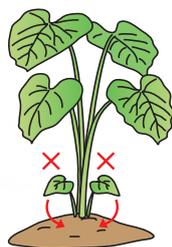


芽かき、土寄せが足りないと細長い不良品が多くなる



本葉が5~6枚の頃から追肥、土寄せ

フィルムをめぐり作業する



脇芽を取り除くか埋める

順調な育ち  
花の上方に数枚の葉が付いている



健全花(長花柱花)



栄養不良の育ち  
花が先端近くに付いている



不良花(短花柱花)



栄養不良になったら思い切って若取りする

【訂正とお詫び】  
4月号のイラストに誤りがございました。訂正済みイラストを掲載するとともにお詫び申し上げます。

タテのカギ

- ① 井戸などでくみ上げて使います
- ④ 土を小高く盛り上げたもの
- ⑥ 人がたくさん住んでいます
- ⑦ 車に乗って出掛けます
- ⑨ 孫悟空の乗り物です
- ⑪ 中国の——に由来することわざは多い
- ⑫ まき割りや枝打ちに使う刃物
- ⑮ 東南アジアの国。首都はクアラルンプール
- ⑰ 人を怒らせることを「——に触れる」ともいいます
- ⑲ インドから伝わる心身調整法
- ⑳ 太陽や星がよく見える天候
- ㉑ 台所ですることの一つ

ヨコのカギ

- ① 端午の節句に食べます
- ② 映画の撮影時にカチンと鳴らします
- ③ 人事——で所属部署が変わった
- ④ 二つで1組のものを数えるときに使う言葉
- ⑤ 初節句に——飾りとこいのぼりを用意した
- ⑧ 野球の走者のこと
- ⑩ 家を留守にする際は忘れずに
- ⑬ 袖振り合うも——の縁
- ⑭ チョウの仲間。カラス、アオスジといえ
- ⑯ ボルトやナットを回す工具
- ⑰ すし屋の符丁で茶のこと
- ⑲ 布地を裁断した物

二重マスの文字を A ~ F の順に並べて  
できる言葉は何でしょうか？

1	6	9		14	18	21
2			11		19	
		10		15		
3	7			16		22
	8		12			
4			13		20	
5				17		

答え

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒697-0024 浜田市黒川町3741番地  
JAしまね いわみ中央地区本部 ふれあい課 「クイズ」係  
平成29年6月5日（月）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆  
「ランドセル」

ホ	タ	ル	イ	カ	チ
ヨ	ビ	キ	ソ	ド	
チ	リ	ア	オ	ノ	リ
ヤ	マ	ン	キ	ア	
ク	レ	ナ	イ	ハ	シ
セ	イ	イ	バ	ー	
キ	タ	カ	ラ	ブ	ネ

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

けんこうさんぽ  
健康散歩  
JA島根厚生連

サルコペニアを予防しよう

皆さん「サルコペニア」という言葉をご存知ですか。人間誰しも、年齢を重ねると身体機能が衰えていきます。なかでも、骨、関節、筋肉の部位になんらかの支障をきたして運動障害がひき起こされる状態を「ロコモティブシンドローム」といい、特に著しく筋肉量が減少してしまいう状態を「サルコペニア」といいます。このような状態は歩行障害や転倒といった要支援・要介護のきっかけとなるため、豊かな日常生活をおくるためには予防対策が非常に重要となります。

サルコペニアは、「歩く速度」、「握力」、「筋肉量」などを測定して診断します。これを自分で調べる場合、「①歩くのが遅くなった。（横断歩道を青信号のうちに渡りきれない）」、「②手すりにつかまらないうち階段を上がれない」、「③ペットボトルのキャップが開けにくくなった」、「④重いものを持ち上げられない」などの項目が判断の目安となります。

サルコペニアの予防は、食事と運動の改善が必要です。食事は筋肉を作るのに欠かせない「たんぱく質」、「ビタミンD」、「アミノ酸」などの栄養素を摂ることが重要です。まぐろやかつおなど赤身の魚、レバーなど赤身の肉、卵、大豆製品、乳製品などがオススメです。運動は、筋力トレーニングで筋肉量を維持・増加させることが重要です。腕立て伏せや腹筋・背筋などができれば理想的です。しかし、なかなか難しいという方は、つま先立ちや片足立ちであったり、椅子に座った状態でのつま先上げ・かかと上げなど、少しの時間でも日常生活のなかでこまめに行うことが大切です。筋肉は加齢に伴って減る反面、運動や食事の工夫次第で高齢になっても増やすことができます。皆さんもこれを機会に見直してみてもいかがでしょうか。



理事会情報 (3月29日開催)

- 協議事項**
- ① 平成29年度県域品目販売手数料について
  - ② 平成28年度JAしまね農業振興支援事業最終申請(第6回(3月))について
  - ③ 平成29年度補助事業の実施計画について
  - ④ 農業ICTの取り組みについて
  - ⑤ 平成27年度産島根米共同計算収支の概況について
  - ⑥ 平成27年度産飼料用米の最終精算について
  - ⑦ 平成28年度産備蓄米の最終精算について
  - ⑧ 平成28年度産島根米「買取制度」中間総括について
  - ⑨ 平成28年度産島根米買取販売における収益および費用の配賦方法ならびに配賦率について
  - ⑩ 雲南畜産総合センターの12月末実績報告と運営計画の見直しについて
  - ⑪ 県央地区畜産総合センター運営規程の制定について
  - ⑫ 全農農業経営規程設置に係るJAしまね総代会決議(特別決議)について
  - ⑬ 葬祭具利用料の変更および葬祭具利用管理規程の一部改正について
  - ⑭ 平成29年度余剰金運用について
  - ⑮ 平成29年度第1四半期の余剰金運用計画額および運用方針について
  - ⑯ 自動車損害調査体制の再構築にかかる対応方針について
  - ⑰ 組合と理事との取引(契約)の承認について
  - ⑱ 平成29年度における各種限度額について
  - ⑲ 平成29年度コンプライアンス・プログラムについて
  - ⑳ 平成29年度個人情報保護計画について
  - ㉑ JA全国監査機構による期中改善指示事項(期中監査)に対する回答について
  - ㉒ 機構改革によるリスク管理基本方針等の改正について
  - ㉓ 平成29年度事業収支計画について
  - ㉔ 島根県中央酪農農業協同組合連合会の株式会社化に伴う全農保有株式の譲受について
  - ㉕ 平成28年度下期分出口数減少(減口)の承認について
  - ㉖ 組合員の加入時における出資基準にかかる整理について
  - ㉗ JA運営への女性参画にかかる女性総代拡大的取り組みについて
  - ㉘ 平成29年度地区本部総代説明会の開催について
  - ㉙ JAしまね福祉事業に関する運営規程の一部改正について
- 報告事項**
- ① 平成29年度島根県農業政策および予算に関する要望書への県回答について
  - ② 島根県農林水産部とJAグループ島根との意見交換会の報告
  - ③ 平成29年度地域品目販売手数料について
  - ④ 「農業戦略実践3カ年営農計画」の実現に向けた進捗管理方法について
  - ⑤ 平成28年度産島根米米評懇談会時における意見・要望等について
  - ⑥ 米穀園芸情勢について
  - ⑦ 加工原料乳補給金制度改革をめぐる直近の情勢と今後の取り組みについて
  - ⑧ 畜産情勢について
  - ⑨ 出雲地区本部の葬祭会館開設について
  - ⑩ 平成29年度共済新契約目標について
  - ⑪ 平成28年度認定反社会的勢力の定期報告について
  - ⑫ 事務ミス報告について
  - ⑬ 平成29年2月末月次決算報告について
  - ⑭ Aコープでの総合ポイント付与基準の変更について
  - ⑮ 「JAしまねの運営にかかる調査・研究・検討」のすすめ方と体制の考え方について
  - ⑯ T P P運動の総括について
  - ⑰ 平成29年度主な会議日程について
  - ⑱ 役員報酬審議会の協議状況について
  - ⑲ 労働組合からの春闘・年度末一時金要求書の提出について
  - ⑳ 平成29年3月1日付け本店人事異動について
  - ㉑ 平成29年度監事監査計画について
  - ㉒ その他(女性理事活動報告)

# 知って納得JA

—協同組合の力—

**Q** 「協同組合」がユネスコ「無形文化遺産」に登録されたのはなぜ?

**A** 協同組合の精神とその実践が認められたからです。

協同組合は、より良い暮らしの実現のために組合員が結集することで成り立つ組織です。現在、世界100カ国以上で10億人、日本では約6,500万人がJAや漁業協同組合(JF)、生活協同組合(生協)などの協同組合に結集し、社会の発展に大きな役割を果たしています。

「協同組合において共通の理念を形にするという思想と実践」が国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)に認められ2016年11月、無形文化遺産に登録されました。これは、世界的に評価されたのと同時に、その思想と実践を次世代に引き継ぐ必要があることを意味します。組合員一人一人が協同組合の価値を再認識し、力を合わせて活動を続けていくことが欠かせません。(監修=広島大学 助教 小林元)



IYC記念全国協議会資料より

\*1 一人の組合員が複数の協同組合に加入している場合は、その数を計上しています。  
\*2 1ドル=115.15円で換算(2017年1月20日)

IYC記念全国協議会  
ホームページはこちら



耕そう、大地と地域のみらい。



JALしまね

あなたのスマホも



家計の大幅節約  
家族のスマホ代を大幅カット!!

# 格安スマホに

お申し込みはJALしまねのホームページから

JALしまね スマホ

検索



<http://ja-shimane.jp/smartphone/>

さらに今なら  
5/31(水)  
までに

JALしまねホームページよりOCN契約番号を教えていただいた方全員に

おさいふカード  
ポイント

3,000ポイントプレゼント!!



ご質問  
お問合せ

生活事業部 店舗生活課

☎0853-25-8907

・くまがね地区本部  
生活福祉部 生活総合課  
☎0852-55-3040

・やすぎ地区本部 生活燃料課

☎0854-28-7200

・岡岐地区本部 経済部

☎08512-2-1133

・隠岐どうぜん地区本部 経済部

☎08514-7-8005

・出雲地区本部  
生活部生活用品課

☎0853-21-6058

・斐川地区本部 生活部 生活課

☎0853-73-9622

・石見銀山地区本部 生活典礼課

☎0854-84-9071

・島根おち地区本部  
生活部 総合生活課

☎0855-95-3601

・いわみ中央地区本部  
営農経済部 経済企画課

☎0855-22-8823

・西いわみ地区本部  
営農経済部 経済課

☎0856-23-0933

・有限会社 サンコープ雲南  
生活課

☎0854-45-3336

出会いの  
きっかけに



しまね  
縁結び  
サポートセンター

## はぴこ・しまね縁結びサポートセンター

へご相談ください

### 結婚を考えている方へ

「今まで出会いがなくて・・・」「真剣に結婚を考えてみようかな・・・」そんなあなたに無料で相談に応じます。結婚したい気持ちはあっても、いざ婚活となると何からはじめていいのか分からなかったり、どこに相談すればいいのかと悩んでいる人はとても多いのでは。まずは、お気軽に「はぴこ」に相談してみませんか？

### はぴことは？

「はぴこ」とは、一般社団法人しまね縁結びサポートセンターに登録された、結婚を望む独身男女の縁結びを応援するボランティアです。（正式名称「島根はぴこーでいねーたー」）結婚を望む独身男女の相談に応じ、出会いのきっかけづくりをします。

### はぴこ交流サロンとは？

はぴこ交流サロンは、縁結びボランティア「はぴこ」が開催する無料の結婚相談会です。

#### 松江センター

〒690-0887  
島根県松江市殿町8-3  
タウンプラザしまね2F  
☎0852-61-1150

#### 浜田センター

〒697-0016  
島根県浜田市野原町1826-1  
いわみーる2F  
☎0855-25-1150

### はぴこによる結婚相談会

- 安来** 日時/毎月第2日曜日 10:00~12:00 場所/カフェ・ローチ  
問い合わせ▶安来市定住企画課 ☎0854・23・3059
- 松江** 日時/毎月第3日曜日 10:00~12:00 場所/サンラポーむらくも  
問い合わせ▶金崎 ☎080・1648・6053
- 雲南** 日時/毎月第4土曜日 10:00~13:00 場所/Aコープますき2階会議室  
問い合わせ▶福岡 ☎0854・43・3687
- 奥出雲** 日時/毎月第2日曜日 10:00~12:00 場所/雲州そば伝統産業会館(奇数月)、奥出雲町社協仁多事務所(偶数月)  
日時/毎月第2火曜日 13:30~15:30 場所/奥出雲町社協仁多事務所  
問い合わせ▶渡部 ☎080・2882・3307
- 出雲** 日時/毎月第2土曜日 9:30~12:30 場所/出雲市男女共同参画センター(くすのきプラザ)  
問い合わせ▶出雲はぴこ事務局 ☎080・2887・3865 (10~18時)
- 大田** 日時/毎月第2金曜日 19:00~21:00 場所/大田商工会議所  
問い合わせ▶大田はぴこ事務局 ☎080・2940・7266 (10~18時)
- 江津** 日時/毎月第2水曜日 19:00~21:00 場所/じばさんセンターcafé桜co.  
日時/毎月第4土曜日 15:00~17:00 場所/パレットこうつ  
問い合わせ▶盆子原 ☎090・4144・9780
- 浜田** 日時/毎月第4金曜日 18:00~20:00 場所/浜田公民館  
問い合わせ▶岡本 ☎0855・23・1430 ★事前予約が必要です
- 益田** 日時/毎月第2土曜日 10:00~12:00、19:00~20:00 場所/EAGA2階会議室  
問い合わせ▶金本 ☎090・7542・7554 ★事前予約が必要です

※日時や会場は変更になる場合があります。はぴこのサポートを申し込む場合は、運転免許証等ご本人と住所が確認できるものと、写真(上半身、全身各1枚)をお持ちください。

## グリーンアスパラサラダ



春先しか食べられないアスパラガスのきれいな緑が引き立つように赤や黄色を色よく取り入れた春らしいサラダです。アスパラの甘味が口いっぱい広がります。

### ●材料 (4人分)

グリーンアスパラ……………2束	コブドレッシング
鶏むね肉……………1/2枚	マヨネーズ……………大さじ2
プチトマト……………8個	トマトケチャップ…小さじ1
パプリカ……………1/4個	ピーナッツバター…小さじ2
レタス……………3枚	(チリペッパー ……少々)
	コショウ……………少々

### ●作り方

- ①アスパラガスは、はかまを取って根元を切り、3～4等分に切ってラップをしてレンジで1分加熱する。
- ②鶏むね肉は、軽く塩、こしょうしてラップに包みレンジで6分加熱する。
- ③ミニトマトは1/4に切る。
- ④パプリカは細い千切りにする。レタスは手でちぎる。
- ⑤材料をすべて混ぜ合わせ皿に盛る。
- ⑥ドレッシングの材料を混ぜ合わせ食べる直前に⑤にかける。チリペッパーはお好みでどうぞ。(少し辛くなります)

## 新ジャガイモのピリ辛揚げ



春先に出荷する新じゃがいもは、水分が多いのでみずみずしく皮が食べられます。水っぽいのだからりと揚げ、味付けはしっかりつけるとおいしいので豆板醤を使いピリ辛な中華風にしています。

### ●材料 (4人分)

新じゃがいも (小) ……12個	しょうゆ……………大さじ1と1/2
ブロッコリー……………1/6株	砂糖……………大さじ2/3
揚げ油……………適量	豆板醤……………小さじ1
	白すりごま……………大さじ2～3

### ●作り方

- ①ボールに調味料を入れ混ぜる。
- ②ブロッコリーは小房に切り、さっとゆでザルにあげる。
- ③じゃがいもはよく洗い水気をふき、中温でじゃがいもをゆっくり揚げる。
- ④じゃがいもに火が通ったら熱いうちに調味料の中に入れ味をからめる。
- ⑤ブロッコリーも入れさっと混ぜ合わせる。

### 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなのおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、江津市桜江町を流れる江の川を泳ぐ鯉のぼりです。こどもの日が近づくと、150匹余りの色とりどりの鯉が春のさわやかな風を受けながら泳ぎだします。また、毎年5月5日に同地域で行われる川戸水神祭りは約500年の伝統がある神事で、神輿を乗せた川船が鯉のぼりの泳ぐ大岩あたりまでパレードします。

### 編集後記

野々村先生に描いて頂いた今月の表紙イラストを見て、私が子供の頃、祖父が鯉のぼりを上げてくれていたのを懐かしく思い出しました。そんな私も今月で2回目の成人式を迎えました。年月が経つのは早いものですね。(藤)

### 【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

